

とおかまち

Public Relations

市報

No.213



2014
2/10

平成26年 2月10日号

特集1

冬の越後田舎体験

子どもの笑顔に触れて
地域の魅力を再発見

(4〜7ページ)

田舎体験で受け入れ家庭の柳能弘(松代・72歳)宅を訪れた澤田伶さん。柳さんの手ほどきを受けた澤田さんは、初めて雪の下から大根を掘り出しうれしそうです。

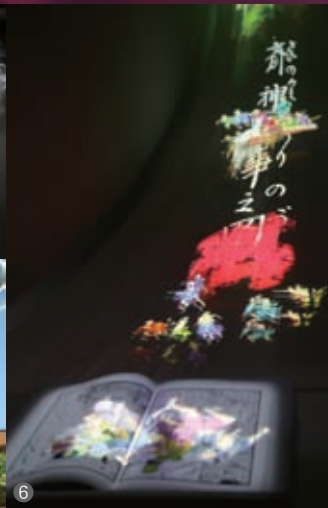
主な内容

- 2 【ピックアップニュース】 雪花火&企画展
- 4 特集① 冬の越後田舎体験
- 8 特集② 生活習慣病予防
- 連載コーナー①
- 12 まちなかステージづくり通信
- 昭和のとおかまち／元気予報／キラメキワークス
- 16 タウンピックス
- 18 お知らせ・ガイド
- 連載コーナー②
- 22 熱中・夢中／和顔愛語／イクメンカジダン
- 24 ジュニア芸術祭

キナーレ企画展 Lights in Snowland



Photo by Tsutomu Yamada



- ① 高橋匡太「Scene with Flowers」
- ② 中村 敬「伊沢和紙行燈」
- ③ 松尾高弘「Snow Dance」
- ④ 大巻伸嗣「Liminal Air Space - Time:Wave」
- ⑤ 木村崇人「うちの庭」
- ⑥ 松尾高弘「Light Book -北越雪譜-」

雪と光をテーマに、雪国に住む人々のさまざまな思いに寄り沿う現代アート展。日没後に始まるナイトプログラムは必見です。

- 会期＝3月23日(日)まで
- 開館時間＝午前11時～午後8時
※ナイトプログラム：午後5時30分～8時（日没時刻による変更あり）
- 会場＝越後妻有里山現代美術館［キナーレ］
- 入場料＝1,000円、小・中学生600円
※日中・ナイトプログラム各1回（計2回）鑑賞可
- 問合せ＝大地の芸術祭の里総合案内所
☎761-7767

▼「雪の運動会」「雪アートプロジェクト」「里山の限界美術vol.5おきなおうな 越後妻有シルバーアート2013」も開催します。詳しくは18～19ページのお知らせ・ガイド欄をご覧ください。

▼お得な共通チケット販売中！

- 雪花火・キナーレ・まつだい「農舞台」のプログラムがまるごと楽しめます。
- 価格＝2,000円、小・中学生1,000円※いずれも当日200円増
- 販売先＝キナーレ・まつだい「農舞台」・市役所本町分庁舎ほか、市内主要施設

▼ボランティア情報

雪原で作る光の花畑と一緒に作りませんか。LEDを植える作業のボランティアスタッフを募集しています。

▼交通案内

メイン会場は一般車両の入場ができません。無料シャトルバスを利用してください。

- バス乗降場…十日町駅西口・キナーレ・千手中央コミュニティセンター・青果市場（南部青果株）
- 時間…午後4時から8時30分まで

▼打ち上げ時の注意
市民の皆さんへお願い

越後妻有雪花火は、信濃川兩岸に連続して打ち上げる花火アートです。打ち上げ場所周辺はほとんど農地ですが、直接農地に立ち入ることはなく、道路上で打ち上げます。近隣の皆さまや農地所有者へご迷惑が掛からないよう細心の注意を払い進めますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

越後妻有
雪花火

大地の芸術祭の里 越後妻有2014冬 を楽しもう!!

●問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637



高橋匡太「Gift for Frozen Village」
Photo by Osamu Nakamura



①雪に埋もれても楽しそうです。②棚田での米作りを学習。③わら草履づくりを体験。④相澤美知さん・美智枝さん夫婦宅に到着。自己紹介をします。⑤体験メニューを説明する柳能弘さん・ハル工さん。⑥おやつにお餅をいただきます。⑦糸ウリをほぐす作業をお手伝い。⑧⑨お別れ会では思い出を語り合います。中には涙する人も。

取組み

本物に触れる4日間

1月21日(火)から3泊4日で、松代・松之山地域に神奈川県藤沢市から私立湘南学園小学校の5年生107人が訪れました。同校は相模湾まで、約1・2キロメートルに位置しています。降雪が少ないため、たくさん積もった雪を初めて見る児童が多く、目を輝かせながら雪の感触を楽しんでいました。松代地域での受け入れ内容を写真で紹介します。

参加者の声 帰ってきたくところ ～雪国とおかまち～



澤田 伶さん
(5年生)

民泊で、みんなで協力して雪像を造り楽しかったです。また、野菜などの食べ物がとてもおいしかったです。雪が降っていたのでとても良い思い出になりました。



水野慎也さん
(5年生)

想像以上の雪の多さに感動しました。この地域は、温かい人がいっぱいだと思います。皆さんに親切にしてもらいうれしかったです。

本校では、教科の他に「総合学習」に力を入れています。総合学習では、本物に触れる体験から「喜びと感動」を、人との出会いを通して「自分の生き方」を考えます。また、その過程から課題を見つけて自分で解決する力を養い、人間力を高める学習を実践しています。

今回の5年生は「雪の学校」という宿泊行事で、雪国でたくましく生きている人に触れることを目的に、その暮らしを学ぶため十日町市を訪れました。私は、この地域を訪れる度に、地域の人々が醸し出す温かい空気を感じました。そして、子どもたちが素直に入り込め、また帰って来たくところだと思いました。「ただいま」と言える場所でさまざまな体験ができることに心から感謝しています。



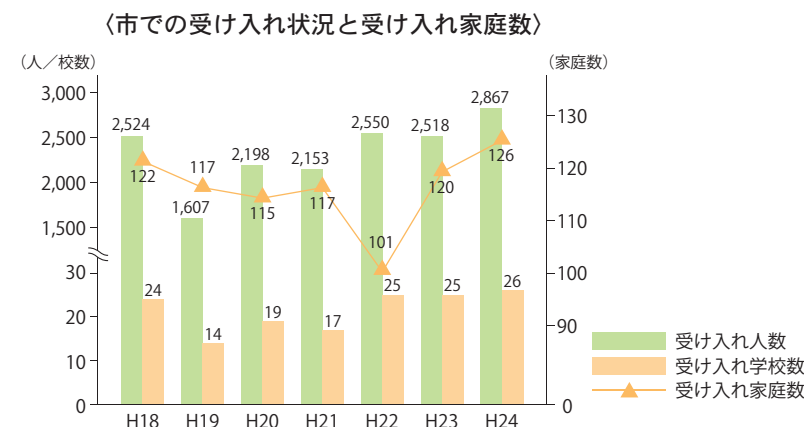
湘南学園小学校
中許竜宏先生 (38歳)

特集 1

子どもの笑顔に触れて地域の魅力を再発見 ～冬の越後田舎体験～

平成11年に旧東頸城郡で始まり、今年度で15年目を迎える「越後田舎体験」。主に首都圏の小・中学校の児童・生徒が修学旅行や林間学校（教育体験旅行）として1年を通して訪れ、民泊を交えながら農作業や雪遊びなどにより、農村生活を体験しています。今回は、豪雪地帯である当地域の冬の田舎体験の様子と受け入れ家庭の声をお届けします。

●問合せ：観光交流課観光企画係 ☎757-3100



現状

広がる田舎体験、民泊が大人気

越後田舎体験が開始されたときの受け入れは、松代・松之山地域だけでした。その後、平成18年に六箇地区と吉田地区が加わり、平成23年には、中里地域、平成25年に飛渡地区に拡大しています。現在では、市内で約130戸の家庭で受け入れが可能になっています。

田舎体験で訪れる子どもたちが体験することは、田植えや稲刈り、畑仕事や郷土料理など、この地域ならではのもののばかりです。その中でも、一番人気のあることは、農家への民泊（ホームステイ）。1泊2日の間、受け入れ先の家庭の子どもとして過ごします。

実践 ありのままで

子どもたちを受け入れている家庭では、どのように子どもたちと接して、どのように感じているのでしょうか。実際に受け入れて11年目になる牧田保代さん（星峠・69歳、写真①）と、1年目の池田マサ子さん（轟木・66歳、写真②）から、受け入れた体験や感想を伺いました。※文中敬称略

案内する場所や食事

見るもの・触れるもの・食べるものほとんどが初体験の子どもたち
池田Ⅱ初めての受け入れでしたので、不安がたくさんありました。受け入れ前に勉強会に参加して、体験などのイメージはなんとなくありましたが、普段の生活の体験で本当に喜んでもらえるのか心配でした。

牧田Ⅱ子どもたちにとって、田舎での体験はほとんどが初体験のようなので、自分の集落内で完結する体験が良いと思っています。うちは、春は山菜採り、夏は野菜の

収穫、秋はコンバインでの稲刈りなどがメインになります。池田さんはどんな体験をさせましたか。
池田Ⅱ集落の人にお手伝いできる農作業を尋ねて、ジャガイモやカボチャの収穫を体験してもらいました。一輪車での運搬も徐々に上手になり、子どもたちも農家の人も大変喜んでいました。
牧田Ⅱ初体験はどんなことでも感謝してくれそうですよね。自分で作ったおにぎりを持って、山で食べることも初体験。だから余計にうれしいと感じるのだと思います。トマトやナスの花を初めて見たと驚いていました。

池田Ⅱ近くの川に裸足で入って喜んでいました。危険なことをきちんと注意した上で、子どもたちの自主性に任せれば、自分で遊びを見つけて楽しく過ごしていたことが印象的でした。
牧田Ⅱ子どもたちに「何をやりたい」か聞くのも大切です。以前に「田んぼに入りたい」と言ったので、連れて行きました。その後は想像のとおり全身が泥んこまみれです。子どもたちはあらかじめ田舎の楽しさを想像してきます。それに応えてあげたいし、それ以上の思い出をつくってあげたいですね。

牧田Ⅱ稲刈りのとき、フキの葉を出をつくってあげたいですね。

広げて「もったいないから」と言っていて、落ちているもみを入れ、楽しそうにもみの皮をむいていた光景には少し驚きました。その玄米を大切にお土産にしていました。
池田Ⅱお手伝いのお礼にもらった野菜を入れたカレーライスを作りました。「こんなに野菜がいっぱいのカレーは見たことがない」と驚いていましたが「とてもおいしい」と言ってもらえました。
牧田Ⅱうちも子どもたちが自分で収穫した野菜を調理して出したら喜んで食べていました。子どもたちが体験した成果を生かすこともポイントです。普段食べている郷土料理もタイミングをみて少しずつ出すと喜んで食べてもらえます。ただ、子どもたちの食物アレルギーには特に気をつけています。



③手紙から子どもの成長を感じる2人。
④春の田舎体験では大パノラマの中、田植えをします。



嬉しいこと・楽しいこと

子どもたちの成長する姿がうれしい

池田Ⅱ最終日の夜に、子どもたちが部屋から出てこなく、疲れたのか、つまらないのか心配しました。後から分かったことですが、翌日のお別れ会の際に受け入れ家庭に渡す「感謝の色紙」を作っていたようです。もらった色紙を見ると、そのときの感激が思い出されます。

牧田Ⅱ災害を心配した手紙や、子どものお母さんから野菜嫌いが一晩お世話になっただけで治ったという感謝の手紙をもらい、特別なことをした覚えはないですが、子どもたちは、何かを感じたから思いを手紙にして伝えてくれるのだと思います。子どもたちがひとりひとりで成長して帰ったことが何より励みになります。

皆さんも参加しませんか

**受け入れ家庭の輪を広げたい
思い切って一歩を！**

牧田Ⅱやつぱり楽しいから続けられると思います。いつもの生活・風景・食べ物で子どもたちが感動します。そのことで私たち自身も地域の持つ魅力を再発見できると思います。

池田Ⅱ受け入れを決めるまでは不安がありました。思い切った一歩を踏み出せば、子どもたちもかわいしいし、楽しくなりました。
牧田Ⅱ思い切るには家族の気持ち次第ですね。行動を起こしてみることも大切だと思います。

池田Ⅱ実際に受け入れてみると普段と何も変わりなく、苦にはならなかったです。一軒でも多く参加してほしいです。それと受け入れ家庭の皆さん同士の仲間づくりができて楽しいです。同じ年代の人が多くて、こちらの交流も楽しみのひとつです。

受け入れを希望する家庭は次の手順で実施が出来ます。

- ◆中里・松代・松之山地域、六箇地区・吉田地区・川治地区・中条地区＝受け入れのための協議会がありますので、各協議会（事務局：観光交流課または各支所地域振興課）に問い合わせてください。
- ◆それ以外の地域・地区＝地区や集落での受け入れになります。次の手順で受け入れまでの準備を進めます。

- 1 説明会：実際に受け入れをしている人から経験談などを聞きます。
- 2 意向調査：地区や集落、町内で10～15戸程度集まれば受け入れに向けた手続きが始まります。
- 3 説明会：受け入れ意向のある皆さんから集まってもらい、受け入れの詳細を説明します。

- 4 受け入れ調査：受け入れ可能かどうか日程の調査をします。また、受け入れる子どもの性別の意向調査をします。
- 5 衛生講習会と検便：受け入れのときに、食事で注意すべきことなどを説明します。その後、検便があります。※県の要綱により実施
- 6 受け入れ本番：家庭で3～5人程度の子どもたちを受け入れます。

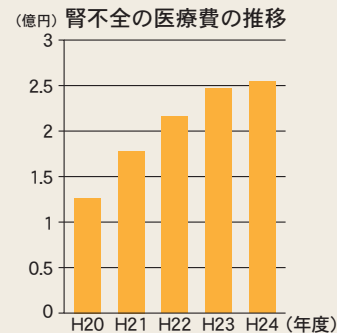
「越後田舎体験」に参加しませんか

十日町市データ

糖尿病が心配される十日町市

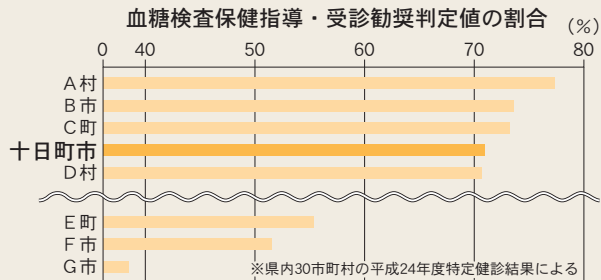
DATA1 増加している慢性腎不全にかかる医療費

十日町市国民健康保険医療費の状況を見ると、生活習慣病に関する疾患が約半数を占めています。中でも腎不全の医療費が増加傾向にあります。腎不全とは、腎臓の機能が低下し、正常に働かなくなった状態です。進行すると「透析」という治療が必要になり、1か月の医療費は1人当たり約30～40万円かかります。



DATA2 糖尿病の一手手前の「血液検査に異常がある人の割合」が県内で4番目に多い

近年、透析になる原因疾患は、糖尿病性腎症が半数を占めています。また、特定健診の結果から、当市は糖尿病に関する血液検査 (HbA1c) に異常がある人の割合が70.9%であり、県内で4番目に多い状況です。



糖尿病は血液検査で分かるよ!

特集2

あなたの健康は 家族の幸せ みんなの幸せ

～元気の秘けつは健診・食事・運動～

●問合せ：健康支援課成人保健係 ☎757-9764

あなたは、毎年健診を受けていますか？「仕事が忙しい」「今元気だから大丈夫」などと、受診をしないことがありますか？

当市の国民健康保険加入者を見ると、県内でも1人当たりの医療費が低く、「市民が元気なまち」です。

しかし、医療費は増加傾向で、健診で糖尿病が心配される人も多くなっています。一人ひとりの健康づくりの取組みが「市民が元気・まちが元気」であるために大切です。

そこで、健康・食事・運動の分野で活躍している皆さんから元気の秘けつを伺いました。

バランスの良い 継続的な

お父さん、毎年健診受けているの？



医師の「様子を見ましょう」は、生活の改善に努めてほしいということ

健診で検査数値が高い項目があつても、「元気だから生活上、特に心配ない」と、再検査を受けない人がいます。そうではなく、かかりつけの医院にしっかりと見てもらう必要があります。

また、検査を受け、医師から「様子を見ましょう」と言われることがありますよね。この『様子を見ましょう』は、これ以上悪くしないために、食事・運動の生活習慣を見直して、改善してほしいということです。今までどおりに生活

毎年、健診を受けましょう。健診は、身体測定・血圧測定・検尿・血液検査などをします。詳しくは、14ページの「元気予報」をご覧ください。



糖尿病予備群でも、生命の危険を及ぼす病気になるります

糖尿病は、三大合併症（糖尿病性網膜症・糖尿病性腎症・糖尿病性神経障害）が危険といわれますが、その他に脳卒中や心臓病などの原因にもなります。

脳卒中や心臓病に関しては、糖尿病一手手前の「糖尿病予備群」の人も、糖尿病の人と近い発生率となっています。国によれば「中高年の3人に1人が糖尿病または予備群」というデータがあります。それに比べて、その年代の皆さんの健診の受診率はとても低くなっています。中高年でも年齢が若いうちから健診を受けないと、人生を大きく左右する病気に気付いたり、防いだりすることはできません。

糖尿病や高血圧など、いわゆる生活習慣病といわれる病気は、体

秘けつ① 健診

手遅れになる前の、毎年の健診と生活習慣の改善が大切です



十日町検診センター
室岡寛 医師

に感じる症状がほとんどありません。このことから、毎年の健診がとても大切になります。また、病気はゆっくり進むため、若いうちから自分の体の状態を知り、気をつけていくことが元気の秘けつです。もし検査数値が高くても、治療をきっちりすることで合併症をかなり抑えられます。

しては良くはなっていない。」「食べすぎ」や「運動不足」が心配されるようになったのは、ここ50年くらいです。元気に長生きするためには健康的な食生活と適度な運動が大切です。「食事だけ」「運動だけ」と、片方だけ取り組むより、両方を組み合わせるほうが効果があります。毎年の健診はもちろんのこと、運動と食事を組み合わせて、自分の健康を守りましょう。

食事 生活に合わせて食事を「おいしく」 見直しましょう

時代の変化とともに、普段の生活の中で食べ物や食べ方も変わってきています。

私たち食生活改善推進員は、各地で講習を開き、実際に料理を作りながら、食を通しての健康づくりをお伝えしています。

病氣予防の食事を「身近な食材で」「具体的な量を確かめながら」「簡単に作れる」「薄味でもおいしく食べられるコッ」など、繰り返し体験することで食生活が改善できます。

例えば、高血圧の原因になる塩分も「みそ汁は具たくさんでうす味になる」「塩分量を計量して目で確認」「漬物の量を気をつける」など、繰り返し伝えることで、地域全体の減塩につながりました。

生活に合わせて食事を「おいしく」見直すために、皆さんもぜひ地域の講習に参加してみてください。そして、一緒に楽しみながら家族の健康を守っていきましょう。

食生活改善推進員（ヘルスマイト）

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、現在148人で活動しています。健康づくりに関することを学び合い、おいしく食べられる工夫を教え合い、集まれば笑顔の絶えない仲間です。食に興味のある皆さん、ぜひ一緒に活動しませんか。

十日町市食生活改善推進員の皆さん



山賀さん 鈴木さん 村山さん

運動 「仲間と」「楽しく」「体の変化を感じながら」運動しましょう

働き盛りの皆さんから、「仕事で体を動かしてらんだ」「農作業が運動代わりなんぞ」という声をよく聞きます。しかし、力仕事・農作業だけでは、生活に必要な筋力を付けることや、生活習慣病を防ぐような運動としては十分とは言えません。効果的な運動を継続的に取り組むことが大切です。

いざ運動を始めても、「運動しなければ…」と、義務感でやっついては長続きしませんよね。ポイント「仲間と」「楽しく」「体の変化を感じながら」運動することです。

市内では、健康づくりの運動教室がたくさん実施されていますので、自分にあった教室にぜひ参加しましょう。ネージュススポーツクラブでも仲間と楽しみながら取り組む教室を開いています。市総合体育館のトレーニング室では一人ひとりに対して継続したサポートをしていますのでぜひ利用してください。

にこやか教室 毎週水曜日、市総合体育館で開催

健康支援課とネージュススポーツクラブが協力して、生活習慣を改善する「にこやか教室」を開いています。教室では、体を動かすことを中心に、体重や筋肉量を測ったり、健康講話をしたりします。健診の結果などで生活習慣の改善を指摘された人や、楽しみながら継続して運動に取り組みたい人など、ぜひ参加してみませんか。



NPO法人ネージュススポーツクラブ
中島浩幸クラブマネージャー



市民の健康増進計画

健康とおかまち21「楽しもうスポーツ、つくろう健康」

この計画では、健康づくりの6項目を設けて目標値を定め、皆さんから積極的に取り組んでもらいたい具体的な行動内容を掲げています。

このうち生活習慣病予防に関係が深い3項目を紹介します。自分がいくつ取り組んでいるかチェックしてみましょう。

生活習慣病の予防

- 1年に1回健康診断を受けます。
- 体重・体脂肪率・腹囲・血圧などを日ごろから測って自己チェックします。
- 健診結果に応じた保健指導を受け、自分の生活を見直し、良い生活習慣を身につけます。
- 気軽に相談できるかかりつけ医を持ちます。
- 健康について日ごろから家族で話し合います。
- がん検診の結果、精密検査が必要な場合は、必ず受診します。

栄養・食生活

- 毎日朝ごはんを食べます。
- 主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事を、好き嫌いせずに食べます。
- よくかみ、腹八分目を心がけます。
- 減塩のため漬物は1日1皿までに、みそ汁は具たくさんにします。
- アルコールを飲まない日を、週1日は設けます。

身体活動・運動

- 1週間に2回、30分以上の運動をします。
- 通勤や買い物など、こまめに歩きます。
- 日常の動作も「運動になる」と意識して、からだを動かします。
- 自分にあった運動を見つけ、長く続けます。
- 積極的にスポーツ行事やレクリエーション活動に参加します。

たくさんチェックがつくように努力しよう！



「生活を楽しみたい」「いつまでも健康でありたい」と誰もが願っています。

健康でいるための3つの秘けつは、「健診」「食事」「運動」です。自分のため、家族のために、仲間づくりをしながら地域全体で、健康づくりに取り組みましょう。

いつまでも健康でいてね！

※本特集は、住民の医療参加促進事業で作成しました

第1回 ワークショップ

- ◆日 時＝平成25年12月15日(日)午後1時30分～4時
- ◆会 場＝市役所
- ◆参加者＝58人
- ◆内 容＝●中心市街地活性化基本計画の概要説明

- 事例紹介
- ワーク1「まちなかの魅力と課題」
中心市街地と市全体の魅力と課題を白地図に書き込もう！

魅力と課題の両面を併せ持つものがあることが特徴的でした。

- ワーク2「まちなかの将来像」
将来のまちなかを想像して、「十日町が〇〇〇なまちになったらいいな！」というフレーズをつくろう！

世代や住んでいるところを問わず、皆さんそれぞれが感じる市の魅力を発見できました！

デザイン勉強会メンバー
樋熊秀行さん

Topics

市民がつくるまちなかのデザイン

市民自ら「地域の課題解決」のためのデザインをすることで継続的なまちなかのにぎわいを創り出します。地域コミュニティが低下し、趣味や興味など共通したテーマで集まるテーマ型コミュニティの力が強くなっています。テーマ型コミュニティを活発にさせて地域のにぎわいにつなげるには、つなぎ役（コーディネーター）の存在が重要です。

テーマ型コミュニティの事例「福井駅前プロジェクト」

ワークショップに参加した人たちで「きちづくり福井会社」ができました。市民活動の拠点を運営したり、にぎわいのためのイベントを実施したりして活躍しています。

始まりました！まちなかステージづくり

中心市街地活性化事業の一環（※）として、「まちなかステージづくり」が始まりました。これは、まちなか（中心市街地）をステージに見立てて、さまざまな活動や機能を点在させることで、まちを訪れる人を増やすことを目指した取り組みです。その構想段階から「まちなかの使い手」である市民の皆さん自らが主体的に、議論を重ねながら作り上げていくことにしています。

平成25年度は、その中心的な拠点となる「市民活動センター・まちなか公民館」と「市民活動センター」の整備を議論の成果として形にします。分野や地域、年齢も異なる約60人が集まり、「どんな活動や機能が必要か」「必要な機能の配置やデザインは」「機能や施設を運営していく主体や仕組みをどうするか」などをワークショップで話し合っています。

今後、この取組みの様子を、市報のコーナーとしてお知らせします。今回は、ワークショップを運営する「デザイン勉強会」の紹介と2回開催したワークショップの様子をお伝えします。

※市では、市（地域）のよりどころ・顔である中心市街地に新たなにぎわいを生み出すため、法律に基づく中心市街地活性化基本計画を策定し、平成25年6月に国から認定を受けました。この基本計画では、施設などのインフラ面と、さまざまな目的でまちを訪れる人を増やす企画面での取り組みを揚げ、実施主体が明確になっている事業が登載されています



まちなかステージづくり通信

●問合せ：中心市街地活性化推進室 ☎757-3691

vol.
1

第2回 ワークショップ

- ◆日 時＝1月26日(日)午後1時30分～4時
- ◆会 場＝市役所
- ◆参加者＝55人
- ◆内 容＝●「まちなかステージづくりワークショップで目指すもの」について説明

- 第1回ワークショップの振り返り
- 事例紹介

- ワーク「まちなかでの楽しい活動づくり」
ひとりの「やってみたら楽しい活動」に、みんなのアイデアを加えて地図に書き込もう！

第2回目は、「自分たちがやりたい活動」を、具体的にイメージすることで盛り上がりました♪

デザイン勉強会メンバー
石澤由記さん

「活動の拡大」「拠点づくり」「人」「にぎわい」「学び」「雪・料理・出会い」「発表の場づくり・みんなで参加」「人が集まる」「体験」「発信」などの、活動のキーワードが挙げられました。

予告 平成26年度のワークショップ参加者を募集します

「まちなかステージづくり」は、平成27年度までの3年計画で取り組んでいます。

平成26年度からは、この取組みに欠かせない「まちや施設の使い手である市民が、主体的に運営する仕組みづくり」を重点にして進めていきます。

「まちなかでこんなことがしたい・まちなかと連動（連携）した活動がしたい」など、「まちを楽しく使う」皆さんの参加をお待ちしています。詳しくは、今後の市報などにてお知らせします。

※今年度は、連続した3回の集中的な議論から生まれる成果を目指しているため、途中参加は受け付けていません

デザイン勉強会

市民の手でステージづくりを進めるために、勉強会を立ち上げました。勉強会の参加者は、「ファシリテーター（会議を円滑に進める役）」として、ワークショップで参加者のアイデアや意見を引き出したり、まとめたりと活躍しています。昨年11月7日のキックオフ集会をきっかけに結成され、住んでいる地域や職業もさまざまな17人の皆さんが奮闘しています。



Topics

デザインとは

もともとは下絵や意匠計画といった意味でしたが、近年は、「ものづくりやコミュニケーションを通じて人間としての誇りをもたらしもの」「問題の本質を捉えて調和と秩序をもたらし行為」などさまざまな定義がされるようになっていきます。

ソーシャルデザインとは

「社会の課題解決のためのデザイン」という概念です。19世紀のイギリスで労働問題などに対して「芸術家に何ができるか」を考えたのが発端と言われています。



高橋 純さん（新座2・19歳）

高校卒業後に入社して10か月が経つ。精密機器の部品など、鉄やステンなどを用いてさまざまな部品を溶接している。



村山 晴紀さん（山野田・19歳）

高校卒業後に就職して10か月。コンピュータで展開図などを設計するCADを主に担当しながら、部品製作や出荷作業にも携わっている。

■問合せ
産業政策課
☎757-3139

昭和とおまち

No.59

■撮影時期：昭和38年2月16日

■撮影場所：川原町 来迎寺北側

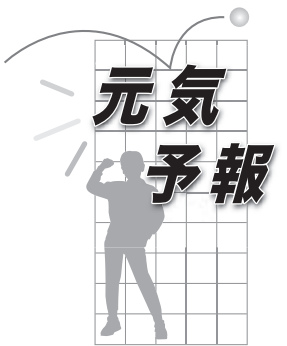
「オリンピックに備えて一石二鳥強化練習」という雪像作品です。この頃、日本はオリンピック初開催を翌年に控え、国を挙げての建設ラッシュが続いていました。左から、木の根を相手に柔道する人、重たいがれきを持ち上げる人、石を砲丸投げのように飛ばそうとしている人です。工事をしながら強化練習も兼ねてしまおうというユーモアが込められた雪像です。

（写真提供：旧山内写真館）



第14回十日町雪まつり 雪像制作風景

■問合せ：博物館 ☎757-5531



各種検（健）診の申し込みが始まります

平成26年度各種検診申込書を配布します

2月末に各世帯に「各種検診申込書」を配布します。これは市の検診の申込書であるとともに、皆さんの受診状況を把握する大切な調査です。受診希望の有無に関わらず、3月8日（土）までに、市政事務嘱託員などに提出してください。

健康診査（住民健診）の申し込み

●40～74歳の人
生活習慣病予防を目的に、「特定健康診査」を各医療保険者（国保・協会けんぽ・共済組合など）が実施します。職場などで詳細を確認の上、年1回は健診を受けましょう。

健康支援課成人保健係
TEL757-9764

問合せ

身近な人が関わっていたこととがきっかけです

高橋さん—高校で機械加工を習っていたことや、父が大工ということもあり、ものづくりに興味があり入社しました。学生の頃より時間の自由は減りましたが、責任を持つて仕事と向き合っています。村山さん—知人がものづくりをやっている、おもしろそうだなと感じて、この職種を選びました。あまり気を張り過ぎずに、自分のペースを崩さないように仕事をするよう心掛けています。

やりがいやおもしろさを感じながら働いています

村山さん—設計の担当なので、自分が間違えると、出来上がった製品も納品できないものになります。製品の最初の工程を任されているので、やりがいのある仕事だと感じています。

高橋さん—溶接では、鉄を熱するとできるひずみを直しながらの作業になります。そういった細かい作業が大切で、就職前のイメージよりも難しさを感じています。でもそれがおもしろいです。出来上がったときは、今はうれしさより

※保険の種類によっては、市の住民健診会場で受診できないことがありますので注意してください。

●16～39歳の人、75歳以上の健康診査（住民健診）を希望する人は、申し込んでください。

胸部レントゲン検査・各種がん検診などの申し込み

どの医療保険の人でも、対象者は受けることができます。希望する人は、申込書に同封する案内を確認の上、申し込んでください。

無料で受診できる検診項目

左表の年齢の人は該当の検診が無料で受けられます。この機会にぜひ受診してください。

無料になる検診	対象の年齢 (平成26年4月1日現在)
胃がん検診	40歳
大腸がん検診	40・45・50・55・60歳
肝炎ウイルス検診	40・45・50・55・60・65・70歳

※詳しい内容は、全戸に配布される各種検診申込書の案内を確認してください

1年に1回健康診断を受けましょう
《健康とおまち21重点目標》

も完成した安堵感のほうが大きいですね。

創造・想像の楽しさを持ちながら、これからもレベルアップしたい

高橋さん—失敗を糧に、さまざまな技術を身に付けたいと思っています。ものづくり全般の創造性を持つてるようになりたいです。

村山さん—図面を見ただけでは分からないものを、どのように使われるか、どんな人の役に立つかを想像しながら作ることがものづくりの醍醐味です。ゆくゆくは、溶接や機械を使った作業などもやってみたいですね。



協力
企業

■(有)山田製作所

・精密板金加工
・十日町市北原
・従業員数30人
・☎752-5508

特殊溶接・部品の製作事業を通して、地域に貢献する会社であるよう努めています。

バイトウ体験お試しツアーを実施、住民の温かさに感動

1月14日(火)：大白倉集落

大白倉集落の小正月の伝統行事として、集落はもとより市県外のファンからも親しまれている「バイトウ」。今回初めて観光協会によるお試しツアーが催行されました。ツアー参加者からは「新聞などで行事があることは知っていましたが、実際に参加してみると、想像以上のバイトウの中の広さにビックリ。集落行事の温かさを感じました」という声が聞こえ、12世帯の集落の力強さとおもてなしに感動していました。



イタリアコモ市に2人が留学

12月23日(月)～1月6日(月)：イタリアコモ市

姉妹都市イタリアコモ市と10年の予定で行っている交換留学事業。8年目となる今回は、藤田真理子さん（小原・31歳）と大熊葵さん（四日町中原・津南中等5年）の2人が、今年の夏に来市する予定のパスセロ・アレッシアさんとパローディ・ラケーレさん宅にそれぞれ2週間ホームステイをしました。



【大熊葵さんのレポート】

私は今回の交換留学では、さまざまな場所へ行きコモの魅力や歴史など異文化に触れる貴重な経験をしました。また、十日町市について話したり、日本食を作ったりして、日本の文化を伝えました。この2週間はとても濃く、自分を成長させる機会になりました。留学生が来市するときは、十日町市の自然や日本の文化を楽しんでほしいです。



【藤田真理子さんのレポート】

コモで見たものや感じたこと・経験したこと、全てが貴重な経験であり大切な思い出となりました。コモ湖や教会、山の上の小さな町など全てが美しかったです。コモの皆さんからは、私たちをもてなしてもらい、親日家の人や十日町市に興味を持っている人もたくさんいました。コモに行ったことで改めて、市のことや日本人であることに誇りを持てました。今年の夏には友達になったコモの留学生が2週間十日町市を訪れます。見かけたらぜひ彼女たちに「チャオ！」とあいさつをすると喜んでもらえると思います。

とおかまち健康マイレージ当選者100人決定！

1月20日(月)：市役所本庁舎



働き盛りの健康づくりを応援する事業として平成25年度からスタートした「とおかまち健康マイレージ」。これは、「健康診断の受診」「がん検診の受診」「健康づくり事業への参加」「健康づくりの目標や実践の記入」の4項目のうち3項目を達成して応募すると抽選で賞品が当たるものです。12月31日(火)までに1,810通もの応募がありました。抽選の結果、当選した100人に市内の健康づくり支援店で使えるお食事券3,000円分を送りました。「来年度も多くの人から健康づくりに取り組んでもらい応募してほしい」と市長は期待を込め話しました。



学校最後の卒業証書制作は真剣に

1月15日(水)：孟地小学校

今年3月で閉校になる孟地小学校の6年生が、最後となる和紙製のオリジナル卒業証書を制作しました。証書はすいた和紙3枚を重ねて厚手にしますが、1枚目をすいた上に透かしとなるよう校章の形に切り抜いた和紙を置きます。1年生から和紙をすいてきた6年生もこの作業は初めて。みんなが真剣に作業をしていました。



地元松之山の子どもも活躍！全国大会に2選手が出場

1月15日(水)～17日(金)：松之山温泉スキー場

第57回新潟県中学校スキー大会（アルペン競技）が開催され、県内の中学生約130人が日頃の練習の成果を競い合いました。競技の結果、2月2日(日)から群馬県片品村で開催される全国中学校スキー大会に、松之山地域から志賀聖子さん（松之山中3年）、小野塚岳人さん（松之山中2年）の出場が決まりました。全国大会での活躍を期待しています。



中里地域全体の活性化に向けて

1月19日(日)：ユーモール

中里地域まちづくり協議会主催による「道の駅構想説明会」が、中里地域内外から約60人の参加のもと開催されました。杉谷清之部会長は「道の駅を建設することが目的ではなく、あくまでも中里地域活性化の方策の一つ」とあいさつをしました。また、計画の素案を策定した掛川光太郎さんは、「この地域には、埋もれた輝ける素材がたくさんあるはず。それを磨き上げ商品にする過程が地域活性化になる」と説明しました。



【3月2日(日)午前10時30分〜午後1時】
会まつだい「農舞台」周辺
¥無料
【雪アートプロジェクト】
新潟の世界的な現代美術家集団GUNの流れをくむ「新潟ユニット」による恒例企画。雪を使って非日常的な体験を創り出します。
日3月1日(土)〜2日(日)午前10時〜午後3時
会まつだい「農舞台」周辺
¥300円
【里山の限界芸術vol.5おきなとおうな「越後妻有シルバーアート2013」】
65歳以上のジャンル不問の美術展。絵画・彫刻・写真・川柳・研究・カラオケなど、さまざまなシルバーパーワーに溢れた展覧会です。
日3月30日(日)まで午前10時〜午後5時
休毎週水曜日
会まつだい「農舞台」
¥600円、小・中学生300円
問「大地の芸術祭の里」総合案内所(☎761-7767)

消費税込嫁対策セミナー
個別相談会も開催します。
日①2月18日(火)・②3月19日(水)午後2時〜3時30分
¥無料
定50人
内新たな消費税制度の仕組みと経理処理の注意点
講①和久井さん(和久井税理士事務所税理士)・②水落雅史さん(水落会計事務所税理士)
会・申・問十日町商工会議所(☎757-5111)
COMO FAIR 2014
市の姉妹都市であるイタリ アコモ市の文化・人・雑貨・食べ物を紹介します。

職員・会員募集 シルバー人材センター

【職員：津南事務所長】
4月1日付け採用です。
●募集人数＝1人
●応募資格＝普通自動車運転免許(AT限定不可)を持つ市内・津南町在住者
●給与など＝規定による※各種保険など加入
●選考方法＝書類審査・面接※2月下旬予定
☑2月17日(月)※郵送のときは必着
【会員：市施設管理者】
●募集人数＝若干名
●応募資格＝満60歳以上65歳未満の人
●給与など＝就業先により異なる
●就業先＝サンクロス十日町・公民館など
●選考方法＝書類審査・面接
☑2月26日(水)※郵送のときは必着
〈共通〉
●任用期間＝原則として1年
申・問履歴書を〒948-0082本町2(公社)十日町地域シルバー人材センター(☎752-0888)

職員募集 十日町市事務支援員(非常勤職員)

高度な一般行政事務を積極的に担う職員を募集します。
●募集人数＝5人程度
●応募資格＝4年制大学を卒業または26年3月卒業見込みの人※年齢制限なし、I・Uターン者など市外の人に応募も可能
●選考方法
1次試験：書類選考(履歴書・小論文)
2次試験：面接試験
日3月16日(日) 会市役所本庁舎
●必要書類
①指定様式の履歴書(人事係に配置。市ホームページからも入手可)※全て自筆で記入し、写真を貼付
②卒業(見込み)証明書または卒業証書の写し
③小論文：テーマ「私が学んだことを十日町へ生かす手段・手法」※400字詰め原稿用紙2枚以内に自筆で記入

募集
雪原カーニバルなかさとドッチビー大会参加チーム募集
軟らかい円盤で行うドッジボールのようなゲームです。
日3月8日(土)午後1時30分※集合午後1時
会なかさと清津スキー場
¥1チーム2千円
定先着12チーム
☑2月17日(月)
申・問雪原カーニバルなかさ

と事務局(☎763-2511)
十日町市カタログギフト第2版掲載商品募集!
新たに商品の掲載を希望する企業を募集します。
●募集企業数Ⅱ2社程度
●応募条件Ⅱ①市内に製造元または販売元がある②こだわりや十日町市らしさ(ゆかり)がある③4月から2年間、安定した供給ができる
☑2月15日(土)

☑2月28日(金)
申・問必要書類を持参(本人以外も可)または郵送(当日消印有効)で総務課人事係(☎757-9787)
【雇用条件】
●任用期間＝26年4月1日(火)〜27年3月31日(火)の12か月間※成績良好な場合、以後12か月ごとに更新、最長5年間任用される場合あり
●勤務時間＝午前8時30分〜午後5時15分の間で7時間勤務※休憩1時間あり
●休日＝土・日曜日、祝日、振休、年末年始
●賃金＝月額15万5,400円(時給1,110円)※月20日勤務したとき
●社会保険など＝健康保険・厚生年金・雇用保険に加入
●手当＝通勤手当・時間外勤務手当※その他の手当はありません

日2月22日(土)午前11時〜午後10時
会ドミノハウス(稲荷町4)
内雑貨販売・写真展・トークショー・市内の食材でアレンジしたコモ料理(無料)※アルコール販売あり
問コモフェア実行委員会・藤田(☎080-3491-9883)
リサイクル本市
情報館の蔵書のうち古くなくなった本など、不要になった図書・雑誌を1冊10円(豪華本などは特別価格あり)で提供します。今回は児童書が充実しています。
日2月22日(土)〜3月2日(日)午前9時〜午後7時
休2月24日(月)
対情報館・分室で利用登録している人
持持ち帰り用の袋
他おつりが出ないよう細かいお金を準備してください
会・問情報館(☎750-5100)

講座会と座談会「生活リズムはなぜ必要か」
日3月1日(土)午後2時〜中央公民館
会中央公民館
¥300円
定20人
講大津和子さん(市教育センター相談員)
申・問フォルトネット・関口(☎752-4306)
田部井淳子さん講演会
エベレストに女性で世界初の登頂に成功した登山家の講演です。
●演題Ⅱ人生は8合目からおもしろい
日3月6日(木)午後6時30分〜8時
会クロスステン
¥無料
申・問(公社)十日町法人会(十日町商工会議所内☎757-5111)
雪上カーニバル出演者の変更
雪上カーニバルに出演予定だった「シクラメン」は、都合により「ハジ」に変更になりました。

●出演者紹介Ⅱ「ハジ」
平成17年に地元仙台で活動開始。クラブを中心にライブを重ね、デビュー作『ハジバム』は累計5万枚のセールスを上げる大ヒット。平成25年にメジャーデビュー。現場叩き上げの庄巻のパフォーマンスと「ラップするように歌い、歌うようにラップする」スタイルは、まさに唯一無二のハジ↓ワールドです。
出演者紹介Ⅱ「ハジ」
平成17年に地元仙台で活動開始。クラブを中心にライブを重ね、デビュー作『ハジバム』は累計5万枚のセールスを上げる大ヒット。平成25年にメジャーデビュー。現場叩き上げの庄巻のパフォーマンスと「ラップするように歌い、歌うようにラップする」スタイルは、まさに唯一無二のハジ↓ワールドです。

広告掲載

地域と暮らしと人をデザインする
www.facebook.com/10city.flowerhome
十日町市中条甲921番地1 株式会社
お問合せ 0120-550-208 フラワーホーム

第4回花いっぱいリゾート*ベルナティオフラワーセミナー*
恵泉フラワースクール
春を彩るフラワーアレンジメント
●日時：2014年2月23日(日)※事前予約制
●時間：午後1時30分〜4時20分(受付開始1時10分)
●料金：6,000円(花材代込み) ●会場：山つつじ ●定員：30名様
●締切：2014年2月21日(金) ●持物：エブロン/筆記用具
※定員になり次第、締切とさせていただきます。
※十日町駅西口やホテル直達の送迎バスを運行いたします。(予約制)
セミナーの後は...ティータイムでリラックス
おてま 日間高原リゾート ご予約・お問い合わせ 〒949-8556 新潟県十日町市珠川 TEL：025-758-4888 FAX：025-758-4848 http://www.belnatio.com

2月19日(水)
中里体育館オープン



中里体育館
中里なかよし保育園
山崎・国道交差点
至津南町
至馬場・水沢
ユーモール

体力向上・健康増進のため、ぜひ利用してください。

問 中里公民館 (☎763-2493)

くらし・相談

国税電子申告・納税システム (e-tax) をご利用ください

インターネット tax とはインターネットを利用して確定申告書などの作成・提出ができるシステムです。所得税・復興特別所得税の確定申告期間中は、国税庁ホームページ (http://www.e-tax.go.jp) 確定申告特集ページ内の「確定申告書等作成コーナー」から所得税・復興特別所得税、消費税・地方消費税、贈与税の申告ができます。期間中は、メンテナンス時間を除き24時間

申・岡応募フォーム(クロス
テンに配置。ホームページ
からも入手可)をクロス
テン (☎757-2323)

とおかまちハッピー婚シエル
ジュ
イベント参加者募集

【Snow Candle Happy Party
「雪原カーニバルなかさ」と
ランチを楽しんだ後は「雪
原カーニバルなかさ」へ。
数万本のキャンドルに彩られ
た幻想的な空間での出会いを
楽しみませんか。

日 3月8日(土) 正午〜午後8時
30分頃

会場 林屋旅館・なかさと清津ス
キー場

対 23〜39歳までの独身の
人

¥ 男性4千円、女性3千円

定 男女各10人※応募多数の
ときは抽選

※ 2月26日(水)

申・岡 榎エフエムとおかま
ち (☎752-7830)

【ステップファミリーイベ
ント ピザ作りで2人の仲もア
ツアツ】

再婚&ステップファミリー
希望者向けのイベントです。
料理の先生に教わりながら料

理を作り、食事と交流を楽し
みます。※託児室あり

日 3月15日(土) 午前10時〜午後
2時30分頃

会 千手中央コミュニテイセン
ター

対 シングルファザー・マザー、
離婚経験があり独身の人、
またはこれらに理解のある
独身の人

¥ 男性3千円、女性2千円

定 男女各15人※応募多数の
ときは抽選

※ 2月28日(金)

申・岡 まんまの会 (☎090-
9979-2544) ※
受付 午前10時〜午後6時

受講生募集
在職者訓練(技能向上コース)

【TIG溶接受験準備コース】

日 3月8日(土)・9日(日) 午前9
時〜午後4時

対 溶接に関して1か月以上の
実務経験のある人

¥ 3900円※別途テキスト
代・材料費などが必要

定 10人※申し込み多数のとき
は抽選

内 受験のためのTIG溶接の
学科と実技

いつでも利用可能です。利用
には、電子証明書の取得、I
Cカードリーダーライタの購入
などの事前準備が必要です。
詳しくはホームページをご覧
ください。

問 十日町税務署 (☎752-
3181)

田川橋架け替え工事のた
めの通行止めのご案内

田川の改修工事による田川
橋(県道中条田川線)の架け
替え工事のため、一部区間(田
川町・川原町地内)で通行規
制を行います。ご理解とご協
力をお願いします。

● 通行止め期間 2月17日(月)
〜平成27年12月下旬

問 十日町地域振興局災害復旧
課 (☎757-5512)

出張無料相談会
若者サポートステーション

働くことに悩みを抱えてい
る人のための出張相談とし
ゃべり場です。

日 2月14日(金)・28日(金) 【相談】
午後1時〜3時(要予約)、
【しゃべり場】 午後1時30
分〜3時30分

2月21日(金)
会・申・岡 上越テクノスクー
ル(上越市・☎025-545-2190)

福祉・健康

地域で安心して老後を
暮らせませんか
〜高齢者虐待を防ぐために〜

高齢者虐待の基本的なこと
を理解しましょう。※申し込
み不要

日 3月4日(火) 午後1時30分〜
3時30分※受付1時〜

会 情報館

¥ 無料

定 100人

内 市内の高齢者虐待の状況報
告、講演
持筆記用具

講 池田恵利子さん(公益社団
法人あい権利擁護支援ネッ
ト)

問 福祉課おとしより相談係
(☎757-2402)

会 千手中央コミュニテイセン
ター

対 フリーター・ニート・ひき
こもりなど、15〜39歳まで
の若者や保護者

申・岡 三条地域若者サポート
ステーション (☎0256-
32-3374)

若者のための就職フェア

若年求職者の就職活動を支
援し、県内企業の人材確保の
促進を図るための合同企業説
明会を開催します。

● 参加企業 72社(予定) ※
詳細は県ホームページに掲
載

日 2月25日(火) 午後1時〜4時
30分

会 朱鷺メッセ(新潟市)

対 26年3月卒業予定者および
44歳以下の求職者

問 県労政雇用課 (☎025-
280-5270)

企業相談会
NICOカフェ

県の産業を元気にするため
に創業や新事業展開、市場開
拓などを支援する相談をして
います。

2月26日(水) 午後1時〜3時
※各社30分程度

会 本町分庁舎

¥ 無料

2月21日(金)
申・岡 いがた産業創造機構
企画・総務グループ (☎025-
246-0038)

「市報とおかまち」が県広報コンクールにて
2冠を獲得しました

県広報協議会(事務局:県広報広聴課)主催の「平成25年度新潟県広報コンクール」で、「市報とおかまち」が、4部門中2部門で県知事賞(一席)を獲得しました。合併後の成績で、広報紙の部の県知事賞は6年ぶり4回目、組み写真の部は3年連続4回目の県知事賞となります。また、一枚写真の部でも入選(二席)となり、応募した部門全てで受賞しました。

これからも市民に愛される市報づくりに取り組みます。今後とも市報へのご協力をお願いします。

■ 広報紙の部=県知事賞
市報11月10日号

■ 広報写真(一枚写真)の部=入選
市報11月10日号表紙

■ 広報写真(組み写真)の部=県知事賞
市報3月25日号4〜5ページ

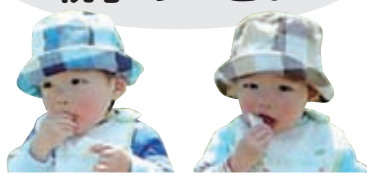
問 企画政策課秘書広報係 ☎757-3112



11月10日号
市報とおかまち
3月25日号

子育て

双子ちゃんの親子のつどい



双子や三つ子の育児につい
て、日頃感じていることや工夫
などをおしゃべりしませんか。
妊婦も参加できます。

日 2月26日(水)
午前10時〜11時

会 中央公民館

¥ 無料※飲み物などは各自持参

※ 2月21日(金)

申・岡 子育て支援課 子育て支援
係 (☎757-3719)

26年度学校体育施設開
放事業

年間を通してスポーツ活動
をしている団体に、主に夜の
時間帯、市内小・中学校(指
定校)の体育館やグラウンド
などを開放します。使用には
利用団体の登録と使用料が必
要です。また学校によっては
調整が必要となります。

※ 2月26日(水)

申 十日町地域はスポーツ振興
課、その他の地域は各公民
館

問 スポーツ振興課 (☎756-
5013)

長岡療育園 発達講座
「発達障害と感覚統合」

日 2月22日(土) 午後1時30分〜
4時20分※受付1時〜

対 保護者、障害児療育担当者
など

¥ 無料

定 先着100人

内 作業療法士による感覚統合
と遊具の取り入れ方につい
ての講演、体験講座

他 託児あり※20人程度

※ 2月18日(火)

会・申・岡 長岡療育園(長岡
市・☎0258-46-6611)



佐藤 楨治さん（南鐘坂・100歳）

元気なお年寄りを紹介し、健康の秘けつなどをうかがいます。

わがん あいご 和顔愛語 ～はつらつ おじいちゃん～

18

今の生活を「最高」と笑顔で言い切る楨治さん。日記を書いたり、主だったニュースを抜粋してまとめたりするのが楽しく、日記は30年間、毎日続けています。のんびりしていることが長生きの秘けつと言う楨治さんは、「若いときからそうだったものね」と笑う奥さんとお互いの欠点を補い、助け合いながら仲良く毎日を過ごしています。

我が家の

イクメン☆カジダン

23

我が家のイクメン☆カジダン募集中！家事育児に取り組んでいる写真と紹介文をお寄せください。
申込み・問合せは企画政策課秘書広報係 ☎757-3112

「イクメン」とは育児を楽しんでいるメンズ（男性）、「カジダン」とは家事に積極的な男性のことです。そんな我が家自慢のイクメン・カジダンを紹介します。

わが家の

パパ…小野塚雅志さん（上鰯池・37歳）



睡眠を邪魔され迷惑そうな息子。それにめげず幸せそうにハグする父。その折れない心に感謝。これからもスキンシップを大切に(笑)！（ママより）

わが家の

お父さん…高橋 浩さん（天水島・33歳）



共働きで、夫婦がお互い負担にならないように家事を分担しています。これが夫婦円満の秘けつです。

あすこたね

▼トビックスには掲載できず残念でしたが、今年も松之山の伝統行事である、奇祭「むこ投げ墨塗り」が開催されました。起源は江戸時代までさかのぼる伝統行事で、現在も毎年1月15日に開催するなど、昔と変わらないやり方で行われています。そんな小さな地域の行事が、今年は全国放送の番組で生中継されたり、海外の大手テレビ局が取材に訪れたりしました。世界各国で放送や広報掲載されたようです。地域の皆さんの「地域住民のため」に「変わらずに続けること」の誇りを垣間見ることができましたし、それが大きな光を浴びることもあるということを、雪里深い松之山地域で実感しました。



(K)

▼「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」。川端康成の代表作の一つ「雪国」での有名な冒頭文です。長い時間をかけて暗黒のトンネルを通過した後に、視界に写る一面の銀世界は、雪国を知らない人にとって圧巻の景観だったと思います。▼今号では「冬の越後田舎体験」の特集を掲載しました。その取材を通して、雪国を知らない子どもたちが目を輝かせながら雪と触れ合う光景を見て、雪もこの地域ならではの大切な魅力であり、資源であることを再認識しました。市でも雪を利用したさまざまな取り組みを行っています。皆さんもイベントなどに参加して、この地域を訪れる人を通して雪国の魅力を感じ取ってはいかがでしょうか。



(樹)



20代から50代までの重地集落の有志8人で組織されています。仕事もさまざまですが、普段から集落活動や懇親会でコミュニケーションをとっているので、チームワークは抜群です。メンバーの明るさで、集落も温かくなります。

屋根雪や家の周りなど、さまざまな除雪の依頼を受けます。普段の生活で雪処理に慣れたメンバーだからこそできる作業です。毎回4人くらいで、1時間半前後の作業が多いです。



「あそこんしょの屋根もごうぎになつてきたね。声かけてみようか」と、普段から高齢者世帯の住宅を気にかけるなど、集落内に住んでいる人が雪で苦労しないよう気を配ります。



釜川除雪会
チームワークで、地域の除雪を支援
平成24年12月に中里地域重地集落で設立された、地域の除雪を支援する会です。集落内の住宅の屋根除雪や公道までの道路除雪などを請け負いながら、高齢者の世帯には見守りも兼ねて声掛けするなど、雪国の暮らしを身近な住民で支援しようと活動しています。

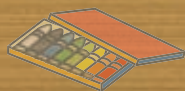
◆問合せ…鈴木和人 ☎090-8256-2994

「集落内で助け合って、住宅の雪処理など雪国の暮らしの問題が解決できたらと思ったことがきっかけです」と話すのは、会長の鈴木隆さん（重地・54歳）。重地集落は、集落行事も多く続いていて、子どもも大人も一緒に楽しんでいる、住民の絆が強い集落です。そんな集落だからこそ生まれた会です。

有償ボランティアとして、人件費程度で依頼を受けます。土・日曜日、祝日に限定せず、平日でも要請があればできる限りの対応をします。また、高齢者世帯だけでなく、自分で除雪することが難しい世帯の支援もしています。評判を聞きつけて、他の地域からも依頼がくるようになりました。

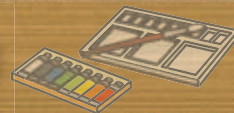
「事故の無いように注意しながらも楽しんで作業しています。除雪後の慰労会で集落のことを話し合うことも大切な時間です」と話すメンバーの笑顔から、雪国で暮らす前向きな気持ちが伝わってきます。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ ☎761-7444



ジュニア芸術祭

松里小学校
104



鈴木 駿さん (1年)

ちょうちょ



ぼくのは、ちょうちょです。空にむかってとんでいます。えのぐのいろがきれいに出てよかったです。かみをひらくとき、わくわくしました。

村山 絢さん (2年)

かわいいねこ



色画用紙を半分におって、かた方に絵の具をたらししました。紙をあけてみたら「ねこ」に見えました。もっとねこらしくなるように、紙を切ってはりました。

村山 博さん (3年)

プテラノドンをおはらえ



おそってくるプテラノドンに石を投げておはらっているところをかきました。うでが回るようにくふうしました。

村山 丈さん (4年)

自然いっぱい森で魚釣り



池で魚釣りをしているところをかきました。カメの頭と手足、しっぽ、つられていいる魚、木にとまっているカブトムシが動くように工夫しました。

滝澤 智久さん (5年)

松之山温泉へようこそ



松之山温泉の中でも有名な「千歳」を描きました。建物の造りや中の様子を描き表すのが難しかったです。色のぬり方を工夫して、丁寧にぬることができました。

佐藤 信さん (6年)

松之山温泉を見下ろして



松之山温泉を高いところから見下ろして描きました。遠くの家を小さく描くのが大変でした。湯やぐらをもっと上手に描きたかったです。